



HSホールディングス

2023年3月期第1四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2023年3月期第1四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 原田 泰成		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階 ※		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕4社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,549名	(当社単体)	5名
		(連結子会社)	5,176名
		(持分法適用関連会社)	368名

※ 2022年7月1日付で「東京都港区虎ノ門五丁目11番1号 オランダヒルズ森タワーRoP1307号」へ移転しております。

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 STANDARD市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	52,911百万円

2022年6月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所STANDARD市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)
2022年 3月	エイチ・エス証券(株)を売却

〔連結子会社〕4社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》		● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社	2022年6月末時点
主な業種	会社名		議決権比率
銀行	●	ハーン銀行 (Khan Bank LLC) ※1	55.30%
	●	キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲	ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
債権管理回収	●	エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲	株式会社外為どっとコム	40.19%

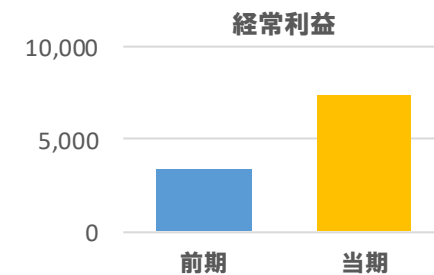
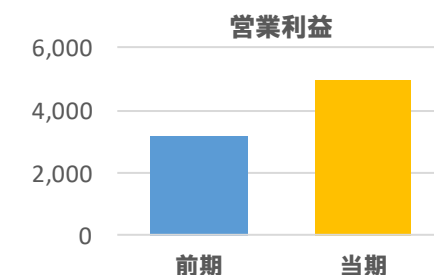
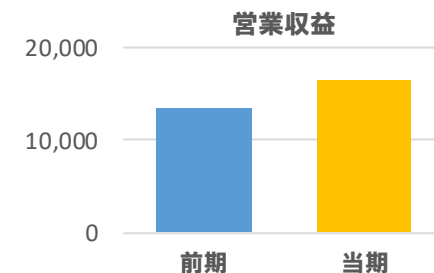
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得

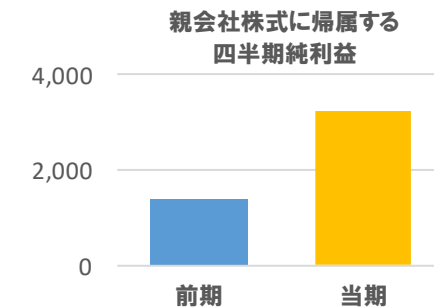
(単位:百万円)

科目 \ 期間	2022年3月期 第1四半期 (2021年4月~2021年6月)	2023年3月期 第1四半期 (2022年4月~2022年6月)	前年同期比
営業収益	13,407	16,389	122.2%
純営業収益	7,402	10,688	144.4%
営業利益	3,148	4,957	157.4%
経常利益	3,423	7,361	215.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,389	3,233	232.6%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2022年3月期 (2022年3月末時点)	2023年3月期 第1四半期 (2022年6月末時点)	前期末比
総資産	577,449	557,734	96.6%
純資産	74,427	79,795	107.2%
現預金	88,137	89,565	101.6%



2023年3月期第1四半期（2022年4月1日～2022年6月30日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	その他事業	連結
営業収益	15,310	-	1,077	39	16,389
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 15,310 内 -	-	外 1,077 内 -	外 1 内 38	-
営業利益	4,804	-	386	△299	4,957
経常利益	4,804	-	362	2,215	7,361

2022年3月期第1四半期（2021年4月1日～2021年6月30日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	その他事業	連結
営業収益	11,761	913	754	173	13,407
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 11,761 内 -	外 890 内 23	外 754 内 -	外 0 内 172	-
営業利益	2,914	146	108	48	3,148
経常利益	2,914	163	80	401	3,423

※ 営業収益の内訳（外：外部顧客に対する営業収益／内：セグメント間の内部収益又は振替高）

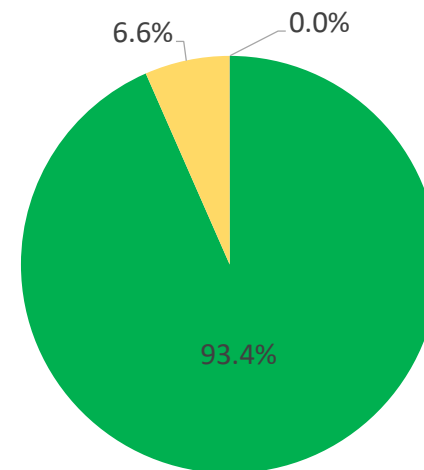
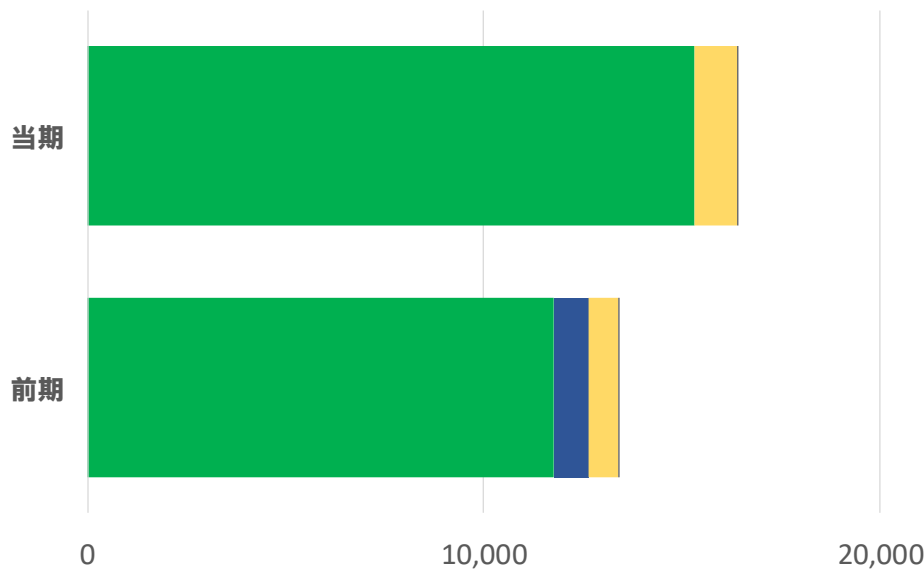
※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

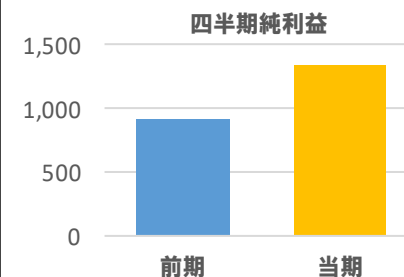
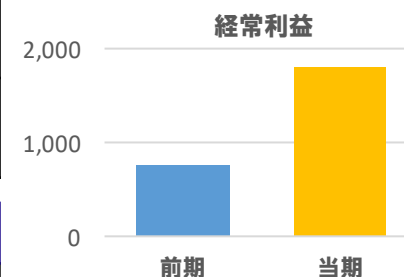
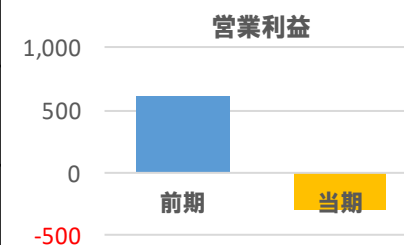
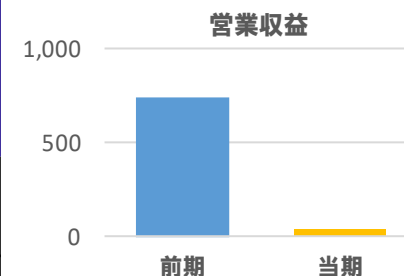
セグメント	期間	2022年3月期第1四半期 (2021年4月～2021年6月)	2023年3月期第1四半期 (2022年4月～2022年6月)	前年同期比
銀行関連事業		11,761	15,310	130.2%
証券関連事業		890	-	- %
債権管理回収関連事業		754	1,077	142.7%
その他事業		0	1	200.0%
合計		13,407	16,389	122.2%

■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ その他事業



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	740	39	5.4%
営業利益	615	△291	- %
経常利益	751	1,808	240.7%
当期純利益	914	1,333	145.8%
総資産 【前期末 / 当期末】	31,140	32,843	105.5%
純資産 【前期末 / 当期末】	30,348	31,412	103.5%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金が減少したことに伴い、前年同期比で大幅な減収。また、主に人件費の増加により営業損失となった。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 当四半期は、大幅な円安により為替差益が約19億円(前年同期は約44百万円)計上された影響から、経常利益・当期純利益は増益となった。

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2021年12月期 第1四半期</th> <th>2022年12月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Interest income (資金運用収益)</td> <td>269,565</td> <td>299,581</td> <td>111.1%</td> </tr> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>115,086</td> <td>177,527</td> <td>154.3%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>44,288</td> <td>86,924</td> <td>196.3%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>13,572,325</td> <td>12,749,214</td> <td>93.9%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2021年12月期 第1四半期	2022年12月期 第1四半期	前年同期比	Interest income (資金運用収益)	269,565	299,581	111.1%	Net interest income (純資金運用収益)	115,086	177,527	154.3%	Profit for the period (当期純利益)	44,288	86,924	196.3%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	13,572,325	12,749,214	93.9%
科目	2021年12月期 第1四半期		2022年12月期 第1四半期	前年同期比																		
Interest income (資金運用収益)	269,565		299,581	111.1%																		
Net interest income (純資金運用収益)	115,086		177,527	154.3%																		
Profit for the period (当期純利益)	44,288		86,924	196.3%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	13,572,325	12,749,214	93.9%																			
所在地	モンゴル国 ウランバートル																					
資本金	172,097百万MNT (MNT:トウグルグ)																					
議決権の 所有割合	55.30%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概況

- 中国の新型コロナウイルス感染防止策の影響によりモンゴル経済は一時的に実質GDPがマイナス成長に陥りましたが、モンゴル政府が実施した景気対策により、ハーン銀行の融資残高が大幅に増加したため資金運用収益が増加し、また、モンゴル政府が実施した預金利息免除の施策により資金調達費用が大幅に減少しました。この結果、当四半期のハーン銀行の業績(現地通貨基準)は増収増益となりました。
- 個人向けにはデジタルバンキングサービスの推進、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に引き続き注力しております。
- モンゴル政府が実施した低金利融資の施策により、主に個人向けや農牧業向け融資が大幅に増加しております。また、法人向け融資についても、大口顧客を中心に引き続き増加しております。

	2021年3月末	2022年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	9,841,426	9,786,370	99.4%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	5,323,477	7,451,678	140.0%

【為替レート】
2022年3月末
1円 = 24.22MNT
2022年1月~3月平均
1円 = 24.62MNT

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目 \ 期間</th> <th>2022年3月期 第1四半期</th> <th>2023年3月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>754</td> <td>1,077</td> <td>142.7%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>108</td> <td>386</td> <td>357.2%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>80</td> <td>362</td> <td>448.4%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>55</td> <td>251</td> <td>449.6%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>6,899</td> <td>6,909</td> <td>100.1%</td> </tr> </tbody> </table>	科目 \ 期間	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比	売上高	754	1,077	142.7%	営業利益	108	386	357.2%	経常利益	80	362	448.4%	当期純利益	55	251	449.6%	総資産 【前期末/当期末】	6,899	6,909	100.1%
科目 \ 期間	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期	前年同期比																						
売上高	754		1,077	142.7%																						
営業利益	108		386	357.2%																						
経常利益	80		362	448.4%																						
当期純利益	55		251	449.6%																						
総資産 【前期末/当期末】	6,899	6,909	100.1%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- ① 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- ② 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 不良債権市場の継続的な価格高騰と、各金融機関がコロナ禍での不良債権の処分を積極的に行っていないことから買取債権残高の減少が続くものの、債権の回収については、有担保案件からの回収が進捗したこと及び収益性の高い債権の回収が進捗した事から増収増益となった。また、営業収益の増加に対して販管費はほぼ前年同期並みであったため、営業利益や経常利益、当期純利益は前年同期比で大きく増加している。
- 債権の回収が進むにつれ買取債権残高は減少傾向にあるが、不良債権市場は引き続き価格高騰が続いている。コロナ禍による金融機関の緊急融資や制度融資についても、徐々に不良債権の発生は懸念されているものの、不良債権市場に供給されるのは今しばらく時間がかかるものと予想される。

	2021年3月末	2022年3月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	714	1,036	145.0%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	21	24	113.7%
買取債権残高 (百万円)	6,872	6,757	98.3%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	期間		前年同期比	
		科目	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期
所在地	東京都港区	営業収益	1,737	2,325	133.9%
資本金	778百万円	営業利益	729	1,179	161.8%
議決権の 所有割合	40.19%	経常利益	723	1,345	186.0%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	当期純利益	484	901	186.0%
		総資産 【前期末/当期末】	142,387	147,729	103.8%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 当四半期の為替相場は円を中心に各通貨の変動幅が拡大し、その影響で顧客取引高が前年同期を大きく上回る水準となったため、増収増益となった。ただし、依然として、新たな異業種企業の参入により顧客の獲得競争は激化している。
- 今後は、顧客ニーズを反映した取引ツールの改善や魅力的なスプレッドの提示により顧客の信頼を勝ち取り、また、中長期的に安定した収益確保を実現するため新たな収益源の確立に努める。

		2021年6月末	2022年6月末	前年同期比
口座数	(件)	535,805	574,500	107.2%
預り資産残高	(百万円)	114,113	124,420	109.0%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2021年12月期 第1四半期</th> <th>2022年12月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>94</td> <td>141</td> <td>150.7%</td> </tr> <tr> <td>Net operating income (純業務収益)</td> <td>317</td> <td>230</td> <td>72.5%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>130</td> <td>60</td> <td>46.8%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>8,909</td> <td>9,105</td> <td>102.2%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2021年12月期 第1四半期	2022年12月期 第1四半期	前年同期比	Net interest income (純資金運用収益)	94	141	150.7%	Net operating income (純業務収益)	317	230	72.5%	Profit for the period (当期純利益)	130	60	46.8%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,909	9,105	102.2%
科目	2021年12月期 第1四半期		2022年12月期 第1四半期	前年同期比																		
Net interest income (純資金運用収益)	94		141	150.7%																		
Net operating income (純業務収益)	317		230	72.5%																		
Profit for the period (当期純利益)	130		60	46.8%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,909	9,105	102.2%																			
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク																					
資本金	1,877百万RUB (RUB:ルーブル)																					
議決権の 所有割合	46.80%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 主に法人向けを中心に融資残高が増加したため、純資金運用収益は増加した。一方で、前年同期には不動産評価益・売却益が計上されていたため、相対的に純業務収益や当期純利益は減少した。
- ロシア経済は、原油高やコロナ収束に伴う経済活動の再開の影響により実質GDP(1-3月)は前年同期比で3.5%増加となった。ただし、ロシア・ウクライナ問題を起因とする幅広い経済制裁を背景にロシア経済の先行きは厳しく、今後、ソリッド銀行の業績に影響を与える可能性がある。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却、預金コストの削減等により、業務の合理化とともに財務状況の改善に取り組む。

	2021年3月末	2022年3月末	前年同期比	【為替レート】 2022年3月末 1RUB = 1.46円 2022年1月~3月平均 1RUB = 1.42円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	5,939	6,149	103.5%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	5,094	5,599	109.9%	

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	期間			
		科目	2021年12月期 第1四半期	2022年12月期 第1四半期	前年同期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income ※ (純資金運用収益)	58	61	103.9%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)	69	79	114.0%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)	7	△4	- %
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	6,800	6,057	89.1%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- キルギス経済が景気回復傾向にあるため、融資残高の増加により金利収入も増加したが、インフレ対策としての政策金利の引き上げにより預金コストが上昇し金利費用が増加、結果として純資金運用収益は小幅な増加にとどまった。また、純業務収益はカード事業などによる手数料収入の増加により増収となったが、当期純損益は貸倒引当金繰入額の増加により赤字となっている。
- キルギス経済は、コロナ収束によりサービス業や製造業を中心に景気は回復傾向にあり、実質GDP(1-3月)は前年同期比で4.5%の増加となった。ただし、ロシア・ウクライナ問題やインフレ率の上昇により今後のキルギス経済の先行きは不透明。
- 今後も引き続き、中小企業融資の増加、カード事業やモバイルバンキングなどのリテール事業の強化による非金利収入の増加を図る。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示しております。

	2021年3月末	2022年3月末	前年同期比	【為替レート】 2022年3月末 1KGS = 1.28円 2022年1月~3月平均 1KGS = 1.30円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	3,484	4,334	124.4%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	2,998	3,783	126.2%	

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2022年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2021年12月期第1四半期		2022年12月期第1四半期	
		期末レート (2021年3月末)	平均レート (2021年1月～3月)	期末レート (2022年3月末)	平均レート (2022年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=25.74MNT	1円=26.86MNT	1円=24.22MNT	1円=24.62MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.29円	1KGS=1.26円	1KGS=1.28円	1KGS=1.30円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.46円	1RUB=1.42円	1RUB=1.46円	1RUB=1.42円